

グループで協力する

パイプライン

時間：15分

ねらい

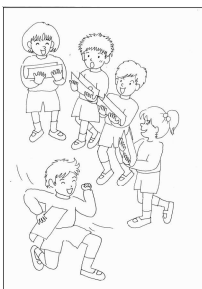
協力しながら活動することにより、他者を尊重し、思いやりの気持ちをもつことの大切さについて考えます。

【準備物】

ボール※1、ハーフパイプ※2、ゴールカップ※3

実施の際のポイント

- 1 ねらい、ルールを確認します。
- 2 グループごとに相談します。
(目標、順番、ボールの種類)
- 3 グループごとに、ハーフパイプを使ってボールを大切に扱いながらゴールに運びます。
- 4 活動をとおして、感じたことや考えたことをグループ内でふりかえります。



【ルール】

- ・約10人のグループを組みます。
- ・ハーフパイプとハーフパイプは直接つなげず、段差にします。
- ・ボールを落としたら、その場所からやり直します。
- ・ボールは手で押さえません。
- ・ボールをハーフパイプにのせたまま移動しません。
- ・グループ同士の競争ではなく、グループ内で立てた目標の達成を目指します。

- ※1 ボールはビー玉、卓球の球、毛糸玉、紙玉等。
- ※2 ハーフパイプは、ラップの芯を半分にしたものやA4の紙、ノート等でも可。
- ※3 ゴールカップはガムテープの芯やバケツ等。

ふりかえりは、協力や思いやりの大切さだけでなく、他者の気持ちについて考え、認める機会にもなります。

参考：「玉川アドベンチャープログラム」玉川大学TAPセンター／「かわさきKタイム」川崎市教育委員会（平成18年）

シッティングパス

時間：15分

ねらい

シッティングパスを体験することにより、障害者の人権について考えます。

【準備物】

風船（グループ数分）

実施の際のポイント

- 1 ねらい、ルールを確認します。
 - 2 シッティングパスをします。
 - 3 活動をとおして、感じたことや考えたことをグループ内で話し合います。
- ※床に腰をおろすことが難しいときは、いすに座って実施することもできます。
 - ※慣れてきたら、シッティングバレーボール（おしりを床につけて行うバレーボール）に挑戦することもできます。

【ルール】

- ・5～6人で輪になって床におしりをつけて座ります。
- ・床におしりの一部を常に接触したまま風船をパスします。
- ・5分間で何回パスをつなげられたか数えます。

ハンディキャップを克服し、スポーツにチャレンジする前向きさに触れ、障害者を理解するためのきっかけにすることができます。